



# 岩江中だより

第1号

発行日:平成26年4月15日

発行:三春町立岩江中学校

電話:0247-62-8290

FAX:0247-62-8380

E-mail:school@iwae-j.fks.ed.jp

## 【ほんもの「自立」をめざして！

～新入生42名を加え平成26年度の岩江中学校がスタート～

まだ肌寒い4月7日(月)、平成26年度の入学式が厳粛な中にも温かな雰囲気の中で挙行されました。

平成26年度の入学生は42名。新2年生が45名、3年生が46名、あわせて133名の生徒数で新年度がスタートしました。

『自立』○真理○博愛○健康○貢献の教育目標のもと、堂々と社会の一員として歩みを進められるよう、毎日毎日、一瞬一瞬を大切に、あっという間の3年間を日々充実感をもって学んでいってほしいと心より思います。

入学式に子どもたちにお話ししたことは、入学式に先立って午前中に行われた始業式においてもお話しさせていただきました。その概要は次のとおりです。



～始業式・入学式式辞の概要について～

まず、第一に、岩江中学校で生活する一人ひとりが「命の大切さ」を自覚し、いじめや事故の絶対のない学校にしよう。

その上で、毎日の「学び」を大切に、学ぶ目的、学ぶ方法、これからの「生き方」について幅広く、深く考えよう。

学ぶにあたって心がけることは、「確かな知識」と「豊かな知恵」を身につけることを心がけ、3年間をかけて一つでもいいから『私にはこれがある』というものを手に入れよう。

しかし、がんばりすぎて疲れることもある。そんなときには誰でもいいから、「助けて。」と言ってみることで、「助けて。」と言える力も勉強してほしい。

これからの生活には、「まどい沢」や「いのしし峠」など、苦勞することも待っているかもしれない。それを乗り越えることをとおして、「岩江中学校でよかった。」と言えるよう、毎日が「命の輝き」あふれる岩江中学校にしていこう。

というような内容でした。子どもたちのこれからの学びに大いに期待します。

そんな子どもたちの『自立』を促すお手伝いをさせていただくのが、下の教職員団です。総勢25名の教職員が、一人ひとりの子どもたちの「命の輝き」のために一つになって全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いたします>

職名	氏名	担任等	職名	氏名	担任等
校長	佐藤 和典		教諭	大平 武志	3年副担任
教頭	渡邊 栄一		養護教諭	林 悠	保健担当
教諭	木幡 健	教務主任	主査	石井 隆義	事務担当
教諭	石井ゆかり	1年主任・1-1担任	特別非常勤講師	春里満喜子	美術
教諭	伊藤 学	1-2担任	スクールカウンセラー	遠藤紗貴子	
教諭	鈴木 信行	1年副担任	内部作業員	佐藤香奈子	
教諭	藤井万里子	2年主任・2-1担任	外部作業員	菅野 洋	
教諭	渡邊 卓也	2-2担任	副主任栄養技師	松本 浩枝	岩江小と兼務
講師	降矢 治	2年副担任	教諭	加藤 知美	育児休暇中
教諭	岡本由紀恵	3年主任	調理員	國分 洋子	
教諭	海老原 篤	3-1担任	調理員	大河原敦子	
教諭	安藤 喜貴	3-2担任	調理員	七海 栄子	
教諭	宗像 美紀	すみれ担任			

※ 太字ゴシック体は本年度転入者です。

【校長の佐藤和典と申します。どうぞよろしく願いいたします。】

4月1日付で辞令をいただき、校長として赴任いたしました、どうぞよろしく願いいたします。職員会議では、教職員に対して、以下のとおり経営方針について説明しました。

『自立』の教育目標実現のため、このような経営方針で迫ってまいりたいと存じますので、見守っていただきますとともに、方針と方向性を異にする取り組みに対しましては、忌憚のないご感想・ご意見をたまわりますよう、どうぞよろしく願いいたします。

《平成26年度学校経営方針》

平成26年度三春町立岩江中学校経営方針

三春町立岩江中学校

【教育目標】

『自立』

真理 博愛 健康 貢献

基本方針 **「こころ豊かに」～共に語り合い、共に学び合い、共に成長する学校～**

子ども同士、子どもと教師、子どもと保護者、教師同士、学校と保護者が、互いに信頼関係で結ばれ、その信頼関係の中で、生徒、教師、保護者が、学校生活を安心感をもって、こころ豊かに、生き生きと活動できる学校をめざす。

### 1 学校経営の方針

子どもたちと向き合い、語り合い、子どもたち一人ひとりが、生き生きと安心して生活できる、子どもたちが主役の学校をめざす。

- 子どもたちと向き合い、語り合い、  
☆ 子どもたちの声に真摯に向き合い、共に語り合うことにより、その声に応え、共に成長しようとする意識と態度をもつ。
- 子どもたち一人ひとりが生き生きと安心して生活できる。  
☆ 子どもたち一人ひとりに学校生活の意義を見いださせること、継続した努力の結果として、何でもいいから、自信をもって、「私にはこれがあります。」と言える子どもをつくる。
- 子どもたちが主役の学校をめざす。  
☆ 子どもたちを励まし、認め、子どもたちが生き生きと学校生活を送れるような、名伯楽としての働きかけを先生方に期待する。自尊感情をもつ主役は子どもたちである。

### 2 めざすべき教師像

可能性を信じ、建設的に語り合い、助け合い、励まし合える雰囲気の中で、教職員がそれぞれの持ち味を発揮しながら、教育の専門家として、創造的に職務にあたる学校づくりをめざす。

- 可能性を信じ、建設的に語り合い、  
☆ 生徒と教員、教員同士、互いの可能性を信じ、決して決めつけず、諦めず、「よさ」を認め、「よさ」をつくるために、建設的に語り合える集団であるよう努める。
- 助け合い、励まし合える雰囲気の中で、  
☆ 子どもたちに指導するように、かけがえのない仲間を大切にすると共に、すべての教職員が、仲間として認め合い、仲間として助け合い、仲間として励まし合える集団でありたい。
- 教職員がそれぞれの持ち味を発揮しながら、  
☆ 「子どもたちのよりよい未来のために」を共通認識として、子どもの教育に関わることに誇りと使命感を感じつつ、方法論として、それぞれの先生方の持ち味を十分発揮した特色ある取り組みを期待したい。
- 教育の専門家として、  
☆ 我々は教員という仕事で給料をいただいています。説明責任と結果責任があります。プロですから言い訳はしたくありません。国民・県民・地域の信託に応えるべく、教育の専門家としてのプライドをもって、教育実践にあたりたい。
- 創造的に職務にあたる学校づくりをめざす。  
☆ 先生方の、よりよいものを求める姿勢は、子どもたちに、前向きな生き方を伝えます。適切で具体的な評価を大切にして、Next Oneの精神で職務にあたりたい。

### 3 不祥事防止

子どもを大切に、地域を大切に、共に高まり続け、かけがえのない家族を大切にできる教職員をめざす。

- 子どもを大切に、地域を大切に、  
☆ この子どもたちならできる、目の前の子どもたちを信頼しましょう。この地域を担う子どもづくりのために、目の前の子どもたちを大切にはぐくんでいく、その信頼や心かけは、子どもたちやその保護者から、先生方や学校への信頼という形で返ってきます。
- 共に高まり続け、  
☆ 人をいじめる子、からかう子、馬鹿にする子、そうすることによって、相手を自分のレベル以下に引き下げ、自分が安定しようとし、自分が高まれば安定できるのにそれをしようとしません。子どもたちが安心感を感じられるよう、生徒と共に教職員自らも高まるうとする心をもち続けていただきたい。
- かけがえのない家族を大切にできる教職員をめざす。  
☆ 不祥事故を起こせば、子どもたちにも、学校にも、教育界にも、そして、家族にも、つらい思いをさせてしまいます。大切な人のための不祥事絶無を肝に銘じましょう。